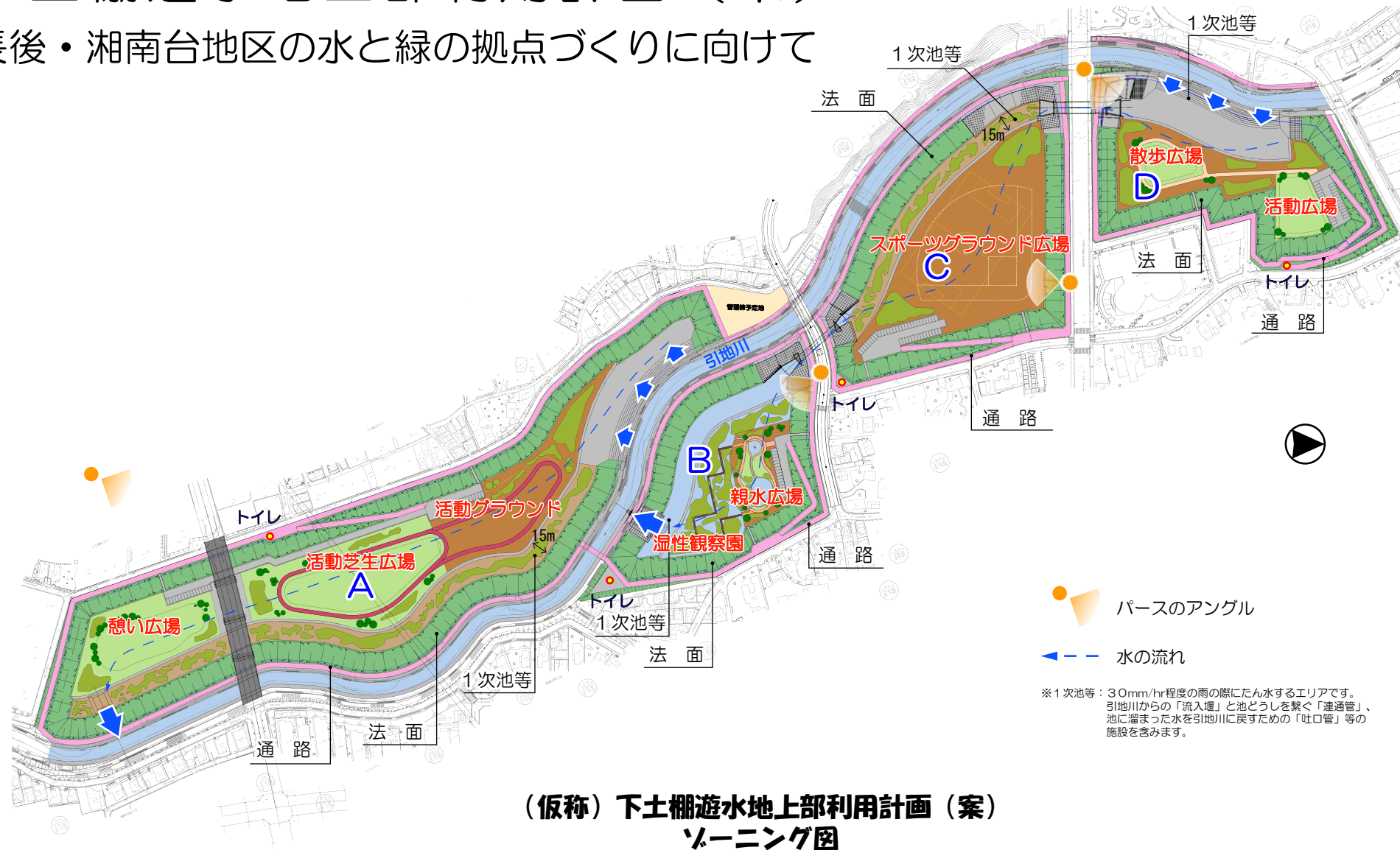


下土棚遊水地上部利用計画（案）

長後・湘南台地区の水と緑の拠点づくりに向けて



(仮称) 下土棚遊水地上部利用計画 (案)
ゾーニング図

<各池の整備イメージ>

A池 利用方針：池の広さを活かし、様々な利用者が自由に使う場所とする
イメージ：様々な活動の空間

- 活動グラウンド、活動芝生広場、憩い広場を整備する
- 3種類の空間を分割するように園路を整備する
- イベントへの利用を想定する

●利用の例
ジョギング・ウォーキングコース、ペタンク、グラウンドゴルフ、多目的広場、イベント、休憩、軽微な運動 etc

B池 利用方針：囲まれ感を活かすことができる施設を導入する
イメージ：水と親しみ、憩う空間

- 子供たちが自然（水や植物）にふれられる空間とする
- 住宅地に近い側は公園的な「親水広場」とし、一次池側は自然的な「湿生観察園」とする
- 親水広場では湧水を利用し、子どもたちが水遊びをすることができる空間とする
- 湿生観察園にはボードウォークを設置し、生物観察や学習の場として活用する

●利用の例
親水公園、生物観察・学習、休憩、生物生育空間（立入制限） etc

C池 利用方針：整形な形状を活かすことができる施設を導入する
イメージ：活発なスポーツ利用空間

- 少年野球、少年サッカーに必要な広さを確保する
- 野球、サッカー以外の運動にも利用する
- 舗装は、土を基本とする
- 一次池は、ボールが入っても支障がないよう、平常時は水を溜めないこととする
- サッカーゴールや野球のバックネット等は、移動式の設備により対応する

●利用の例
野球、サッカー、各種運動 etc

D池 利用方針：高齢者世代の利用を考慮するとともに、複雑な形状の池でも対応できる施設を導入する
イメージ：憩いや休息の「庭」空間

- 高齢者の利用を想定し、休憩施設やお散歩コースなど配置した「庭」のような憩いの空間とする
- 周辺住民や福祉施設からの要望があれば、地域の緑化活動の場として活用する

●利用の例
休憩施設、散歩コース、緑化活動（花壇など） etc

